

単元名	【旧】(参考単元)図画工作の広がり ―表現にこめた思い― (鑑賞)	配当時間	1 時間
単元の目標	(2) 美術作品に込められた作者の表現の意図や特徴をとらえることができる。 (3) 美術作品について調べながら、作品に込められたメッセージを知ろうとする。		

標準的な展開例	06080307_001
【準備等】 OHP, 液晶プロジェクター, 愛パック (愛知県美術館製作), 作品図版, 関連書籍, 美術作品のついたカレンダー・絵はがきなど	

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 作品に込めた想いを想像しながら鑑賞し、作者のメッセージを読み取る。 ★作品に込められた、作者のメッセージを読み取ろう ○教科書の参考作品を見て、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"><li>・見たこと…大きさ、色、形、表情</li><li>・感じたこと…おそろしい、こわい、悲しそう</li><li>・考えたこと…色や形、表情で悲しみや怒りを表している。</li><li>・作者の伝えたいことは何だろう。</li></ul> ○自分の知っている作品について調べ、発表する。(言語活動) <ul style="list-style-type: none"><li>・タイトル</li><li>・作者</li><li>・年代</li><li>・作品や表現の特徴</li></ul>	・教科書 5・6 年下 P.30, 31  ・作品の大きさを実感するために、教室の壁や校内の建物などと大きさを比べさせる。 ・液晶プロジェクターなどで作品を実物に近い大きさに投影し、作品のスケールをつかませてもよい。 ・作品が作られた経緯について、形や色などと関連づけながら、作者のメッセージを考えさせる。 ・作品の大きさや製作方法、形や色などが表現の意図と結び付いていることを感じ取らせる  ・思ったことや、考えたことを自由に発表させる。 ・あらかじめ、好きな作品を選ばせておくともよい。 ・自分なりに調べたことや、思ったことを発表させたりして、いろいろな作品と出会わせるようにさせる。 ・美術作品を模写させ、作品に込められた想いについて気付いたことを発表させてもよい。 【評】 活動を通して、作品に込められた作者のメッセージを感じ取る「鑑賞の能力」を評価する。

【 備 考 】  
この単元では、作者が作品に込めた想いを想像したり、調べたりして鑑賞する活動を行う。作品の形や色など作者の表現が、作品の意図と強く結びついていることを知る。また、その作品の大きさや場所を調べたり、建物などと比べたりする。どのような想いを込めた作品なのか、作者の気持ちを想像しながら、そのメッセージに気付かせたい。言語活動では、自分の調べた作品の形や色などから感じ取った、作者の意図を発表させるとよい。